

質問書に対する回答

(件名) 東京湾アクアライン連絡道 金田高架橋耐震補強工事

No.	質問箇所	質問事項	回答
1	6月14日付けの質問回答書36	『炭素繊維巻立て工の目付量400g/m ² ・目付量450g/m ² ・目付量600g/m ² は「橋梁架設工事の積算」について①樹脂の数量のみ適用することを想定しております。』との回答ですが、5月25日付け設計図の訂正では、炭素繊維巻立て工の目付量400g/m ² ・目付量450g/m ² ・目付量600g/m ² の樹脂の使用量が訂正されていますので、設計図の数量を採用すべきではないでしょうか、ご教示願います。	樹脂の使用量は設計図の数量とお考えください。